

Tottori University

国立大学法人
鳥取大学



財務レポート

平成26事業年度



TU

Tottori University
Financial Report 2015



目次

頁

ごあいさつ

1



鳥取大学の強み

2

-平成26事業年度トピックス-



財務状況

決算の概要

6

収支の概要

7

医学部附属病院の概要

8

財務分析 (財務指標)

9



学長から皆様へ

「知と実践の融合」

その時代に必要な「現代的教養」と「人間力」の養成に重点を置いた教育を展開

「地域に根ざし、国際的に飛躍する大学」を目指しています。



鳥取大学長
豊島良太

ごあいさつ

鳥取大学は、昭和24年に開設され、現在、総合大学として地域学部、医学部、工学部、農学部の4学部と、それぞれに設置した修士・博士課程の大学院及び連合大学院で構成されています。

鳥取大学では、基本理念に「知と実践の融合」を掲げ、知識や理論を実践に繋げて地域から国際社会まで広く社会に貢献することを目的とし、その時代に必要な「現代的教養」と「人間力」の養成に重点を置いた教育を展開し、社会の中核となり得る教養豊かな人材の育成に取り組んでいます。

また、地域貢献の一環として、文部科学省「地(知)の拠点大学における地方創生推進事業」等によって地方自治体や地場農林水産業との連携を推進し、人口減少や少子高齢化に適応した社会づくりや地場産業の成長に資する人材育成や研究を行っています。

この他、国際乾燥地研究教育機構、医学部附属病院、附属学校部等の学内組織を設置し、教育、

研究、社会貢献、医療等多方面で積極的に活動し、「地域に根ざし、国際的に飛躍する大学」を目指しています。

この財務レポートは、鳥取大学の現在の財務状況を分かりやすく伝えることを目的に、平成26事業年度財務諸表を基に作成しました。本学は、学生、保護者、同窓生、企業、地域の皆様など多くの方々に支えられており、大学の現状をご理解いただけるよう説明していくことも重要な責務の一つと考えております。

近年、国立大学を取り巻く状況はますます厳しいものとなってきており、国からの運営費交付金が毎年減額されるなか、競争的資金の獲得や自己収入の増加にさらに努めていくことが重要であると考えています。

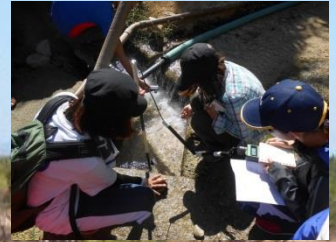
鳥取大学の現状についてご理解いただき、引き続き、温かいご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

タフで実践力のあるグローバル人材の養成

地域社会の課題解決や国際社会の理解を志向し、社会の中核となり得る教養豊かな人材の育成に取り組みます。

教育

メキシコ海外実践教育プログラム フィールドワーク (メキシコ南バハカリフォルニア州)



積極性と発信力!

- 自ら積極的に行動する
- メキシコでしかできない事にチャレンジする
- 周囲を巻き込んで行動する

授業に集中する

- 分からないままにしない、不明な点ほかに確認
- 記録(メモ)を取る
- 出来るだけ英語を使う

チームワークを大切に!

- お互いに助け合う
- 時間を守る
- みんなでごはんを食べる (目指せ! 週3回)

分らないままにしない、不明な点ほかに確認

記録(メモ)を取る

出来るだけ英語を使う

積極的に学び共に向上

自分と相手の意見を尊重

- 自分の意見を言う
- 他人との意見の違いを明確にする

メキシコ海外実践教育プログラム参加のルール

笑顔をお忘れず

楽しい雰囲気づくりを心がける

いつでも思いやりの気持ちを持つ

学生が作成したプログラム参加者共通ルール

スーパーグローバル大学等事業
経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援
開発途上国・新興国をフィールドにした実践教育によるグローバル人材育成

イギリス 夏期英語研修

中国 東北農業大学

韓国 江原大学校 地域学部・海外フィールド実習

アメリカ カリフォルニア大学デービス校 (UC Davis) 英語研修

アメリカ アーカンソー大学 春学期研修

メキシコ メキシコ北部生物学研究センター 南バハカリフォルニア大学 メキシコ海外実践教育プログラム

インド プネ工科大学 志願科目・実践プロジェクト

ウガンダ マケレレ大学 交換留学

ベトナム フォエ大学 地域学部・海外フィールド実習

タイ コンケン大学 農学国際研修地 農学実習

台湾 銘伝大学英語研修

鳥取大学

世界に向けて Let's Try!

鳥取大学ホームページ

新しい「知」を育む国際的な交流を活発に展開。



第6回サミットレクチャー(2014.10.29開催)
講演するマケレレ大学(ウガンダ共和国)
アーネスト・オケロ・オグアング副学長

メキシコ海外教育実践プログラム

全学から募集、選抜した最大20名の学生が、日本とは異なる自然環境、社会・文化環境を有するメキシコの南バハカリフォルニア州ラパス市に位置する、南バハカリフォルニア自治大学(UABCS)と、メキシコ北西部生物学研究センター(CIBNOR)に約3か月間滞在し、英語及びスペイン語による実践的なフィールドワークや様々な課題に取り組む教育プログラムです。

これらの課題やホームステイを通して、スペイン語能力の強化と異文化への理解及び異環境への適応力など、グローバル社会において中核として活躍できる人材としての基礎的能力を修得するだけでなく、自ら課題を見だし、その課題解決のために自助努力できる自立した、タフで実践力のあるグローバル人材の育成を図ることを目的とした、鳥取大学独自の取組です。

スーパーグローバル大学等事業

異文化、多言語、異環境をキーワードとした、教育、社会環境の厳しいアジア、アフリカ、ラテンアメリカ等の開発途上国、新興国での海外実践教育により、「心身ともタフで実践的な能力と卓越したマネジメント能力を持ち、グローバル社会の中核を担うことのできる人材」を育成する鳥取大学の取組は、文部科学省「スーパーグローバル大学等事業」に採択され、平成24年より、支援を受けております。

この事業により、海外実践教育プログラム、語学研修、海外留学のほか、学内においては、全学生対象のグローバル基礎教育や英語合宿、教職員対象の語学研修、開発途上国・新興国の駐日大使、協定校学長を講師とした英語による特別講義(サミットレクチャー)などを実施しています。

グローバルな 視点を持ちつつ 地域のニーズ に応える研究

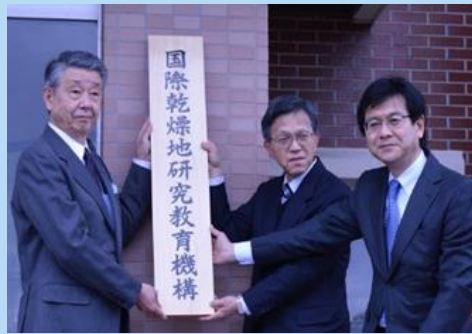
本学の強み・特色となる研究を推進し、国際的に存在感のある研究拠点形成を目指します。

研究

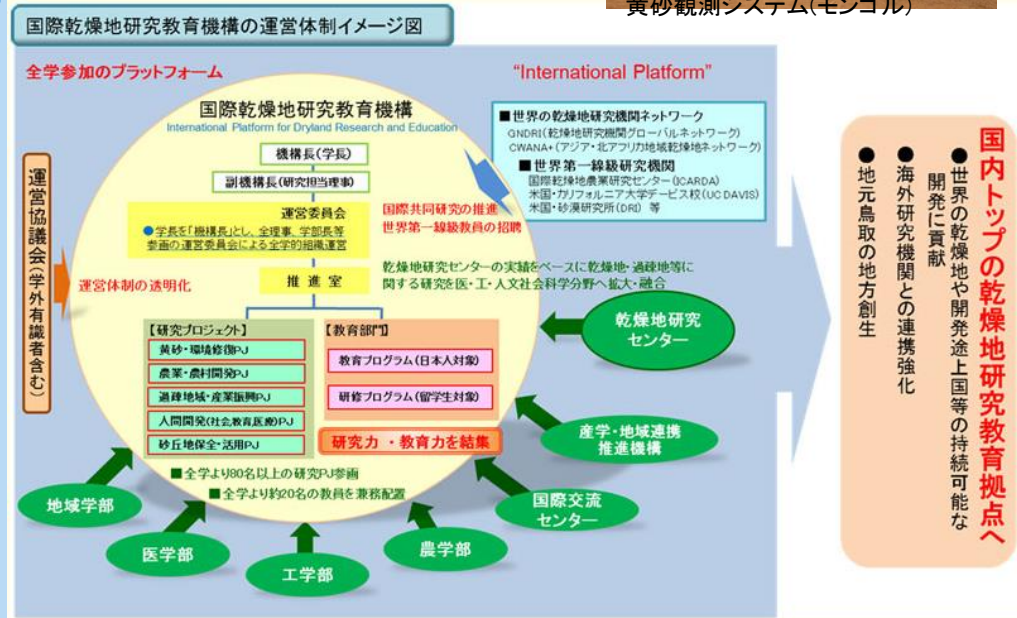
乾燥地研究センター
インターナショナル・アリド・ラボ実験棟(左)
と、アリドドーム実験棟(右)



黄砂観測システム(モンゴル)



国際乾燥地研究教育機構の設置(2015.1.13)



国際乾燥地研究教育機構の設置

鳥取大学には、世界の砂漠化の問題に取り組む乾燥地研究センターがあり、保有する最先端の研究施設と研究実績は、鳥取大学の強みの1つです。

この乾燥地研究センターの研究資産を基盤として、全ての学部と国際交流センター、産学・地域連携推進機構など全学の教員が参加し、研究力、教育力を結集して学部横断的な運営を行う組織として、平成27年1月、「国際乾燥地研究教育機構」を設置しました。

異分野連携により5つの研究プロジェクトと国際的な教育・研修プログラムに取り組み、その成果を国際乾燥地科学の高度専門教育(大学院)に繋げる予定です。

これらの取組により、世界の乾燥地に対する日本のプレゼンスを高めることに貢献するとともに、情報交流・人的交流を通じて地域にも貢献いたします。

特色のある研究による主な外部資金の獲得状況

文部科学省
「革新的」バイオ医薬品創出基盤技術開発事業
『染色体工学技術を用いたヒト抗体産生ラットの作製』
【染色体工学センター】

(独)農業・食品産業技術総合研究機構
「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」
『EOD技術による特産園芸作物の革新的な生産技術実証』 【農学部】

(独)科学技術振興機構(JST)
「地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)」
『乾燥地に適応した魚種・作物種を用いたアクアポニクスによる水の有効利用と持続的食料生産』 【農学部】

地域の中核 医療機関 として

信頼される安全で質の高い医療を提供するとともに、将来を担う高度な医療人の養成と、先進医療の研究開発を推進します。

診療



次世代高度医療推進センター
(後ろ乗り車いすの研究開発)



「発明楽」出前授業(島根県立松江南高等学校)



発想を生み出す4つの発想スキル

一般の発明

<p>+ 常識を超える「たし算」=「付加」</p> <p>消しゴム付きえんぴつの開発 消しゴム + えんぴつ ダイナマイトの開発 ニトロ + 炸药土</p>	<p>× 常識を繋げる「かけ算」=「転用」</p> <p>野菜長持ち冷蔵庫の開発 運送業者の知恵 家庭用メーカー</p>
<p>- 常識にとらわれない「ひき算」=「小型化」</p> <p>ダイエットスリッパの開発 スリッパ 一部分</p>	<p>÷ 常識をくつがえす「わり算」=「逆転」</p> <p>ノリ付き付箋の開発 粘着力の弱いノリ 中割がしやすく何度でも付けられるノリ</p>

地域医療の充実

平成26年7月に、救命救急センター隣接地にヘリポートが完成し、運用を開始しました。

これにより、搬送時間の短縮による救命率の向上や県境を越えた広範囲に及ぶ救急医療への対応が可能となります。また、災害拠点病院として、医師や物資の受入機能も強化され、地域医療のより一層の充実に繋がります。

先進的医療の提供

医師や研究者が、診療科の枠を越えて高度な医療及び研究を横断的に行うことを目的として、平成24年に「次世代高度医療推進センター」を開設しました。

実践的で新しい医療機器の開発や、イノベーションを創出できる人材を養成するプロジェクトの実施などの活動を行っています。

また、平成22年に内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入、平成23年に「低侵襲外科センター」を設立し、全国に先駆けて「ダヴィンチ」を用いた内視鏡手術の技術向上と教育を実施する体制を整備しました。

現在、ロボットを用いた手術件数は国立大学でもトップクラスを誇っています。

高度な医療人の養成

鳥取大学では、発想を生み出す技術と心を育むため発明楽(造語: はつめいがく)を考案し、授業を実施しています。あわせて、次世代高度医療推進センターを中心に、企業や海外などの開発現場で実践する取組を行い、イノベーションを創出する人材の育成を目指しています。

この取組は、文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成事業」に採択され、支援を受けています。

大学の資源を 活用した 地域の活性化

地域と一体となって教育研究を推進するとともに、広く社会に役立つ研究成果を創出し、地域のみならず国際社会に還元します。

社会貢献

各地方自治体との連携事例



サテライトキャンパス「SAKAE401」開所式(2014.11.22)

地(知)の拠点整備事業

「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」とは、大学等が自治体やNPO等と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進めることで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在として機能強化を図ることを目的とした、文部科学省が支援する事業です。

鳥取大学は、平成25年度に本事業に採択され、「知の発展的循環プロセスの構築による地域拠点整備事業」を展開しています。

教育面では、地域志向型人間力教育プログラムの開発を行い、「地的好奇心」にあふれた活力と実践力のある人材の養成、研究面では、知(地)的好奇心フォーラムの開催や地域志向型研究の全学的な展開を行っています。

これらの教育と研究、両面からのアプローチを有機的に絡め合わせて、人口減少・少子高齢化に適応した社会づくりと空洞化した県内産業の再生・成長を目標にした地域再生の「しくみ」を作ることを目指しています。

サテライトキャンパス「SAKAE401」開設

鳥取大学地域学部は、鳥取市中心市街地にサテライトキャンパス「SAKAE401」を開設し、平成26年11月22日に開所式を行いました。

「SAKAE401」は、大学と地域の連携を一層推進するため開設したもので、フィールドワークや文化事業、シンポジウム、学生サークル活動など多目的に活用し、学生や地域の方々などが集う地域活性化の拠点となっています。

決算の概要

貸借対照表の概要

(単位：百万円)

	資 産 の 部	
	平成26年度	平成25年度
固定資産	77,862	76,974
土地	46,422	46,426
建物	18,036	17,931
構築物・機械装置	1,696	1,727
工具器具備品	7,756	8,029
図書	2,605	2,586
その他有形固定資産	309	272
無形固定資産	96	115
投資その他の資産	938	803
流動資産	10,096	12,338
現金及び預金	3,594	5,379
未収附属病院収入	4,140	3,933
たな卸資産	223	200
その他流動資産	2,138	2,825
合計（資産）	87,959	90,232
	負 債 の 部	
	平成26年度	平成25年度
固定負債	19,685	21,132
資産見返負債	8,737	8,700
長期借入金	8,394	9,716
その他固定負債	2,553	2,715
流動負債	8,342	10,270
運営費交付金債務	456	782
寄附金債務	1,602	1,590
借入金	1,477	1,565
未払金	4,130	5,648
その他流動負債	675	683
負債合計	28,027	31,402
	純 資 産 の 部	
	平成26年度	平成25年度
資本金	35,248	35,248
資本剰余金	8,146	7,582
利益剰余金	15,396	14,320
当期総利益	1,141	1,677
純資産合計	59,932	58,829
合計（負債・純資産）	87,959	90,232

損益計算書の概要

(単位：百万円)

区 分	平成26年度	平成25年度
業務費	35,854	34,649
教育経費	1,785	2,062
研究経費	1,810	1,889
診療経費	12,487	12,138
教育研究支援経費	667	677
受託研究費	597	646
受託事業費	322	304
役員人件費	107	95
教員人件費	8,731	7,919
職員人件費	9,343	8,916
一般管理費	1,474	1,076
財務費用	318	365
雑損	4	8
経常費用合計	37,652	36,100
運営費交付金収益	10,936	9,755
授業料収益	3,237	3,231
入学料収益	441	448
検定料収益	114	121
施設費収益	83	213
補助金収益	605	675
附属病院収益	20,072	20,061
受託研究等収益	617	654
受託事業当収益	345	318
寄附金収益	430	444
資産見返負債戻入	1,289	1,358
財務収益	7	8
雑益	551	581
経常収益合計	38,733	37,875
経常利益	1,081	1,774
臨時損失	12	401
臨時利益	37	63
目的積立金取崩額	34	241
当期総利益	1,141	1,677

【貸借対照表】

貸借対照表は全ての資産、負債及び純資産を記載し、決算日における本学の財政状況を明らかにしたものです。国立大学法人は国からの出資（純資産）や借入金等（負債）により形成された資産を活用し、教育・研究等の業務活動を行っています。

鳥取大学の特色として、資産運用の一環で長期及び中期の利付国債を複数保有しています（投資その他の資産へ計上）。

【損益計算書】

損益計算書は事業年度内に実施した事業等により発生した全ての費用と収益を記載し、本学の運営状況を明らかにしたものです。

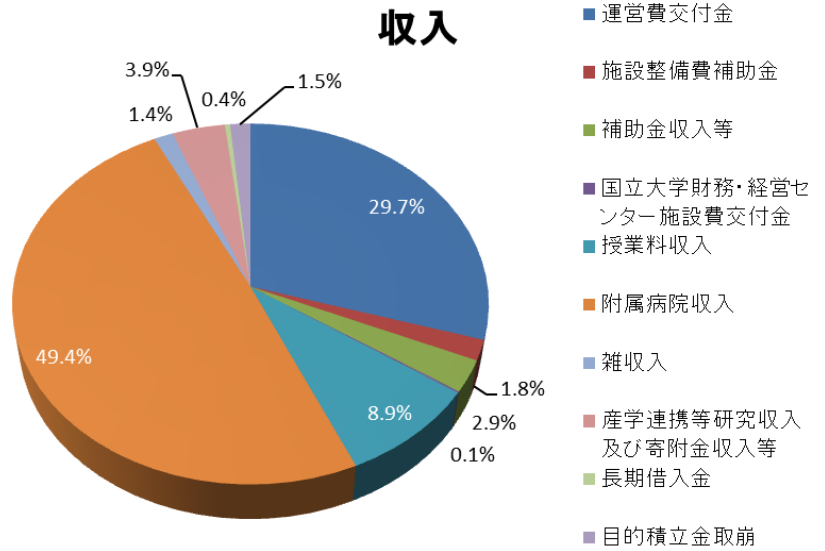
国立大学法人は教育・研究等を行う公的機関であり、その業務活動が利益の獲得を目的しておらず、原則として損益が均衡する会計の仕組みとなっています。

前年度と比較し、平成26年度の人件費が増加していますが、これは給与の特例減額措置の解除によるものと、人事院勧告による給与の増、看護師等病院職員の増員が主な要因です。

収支の概要

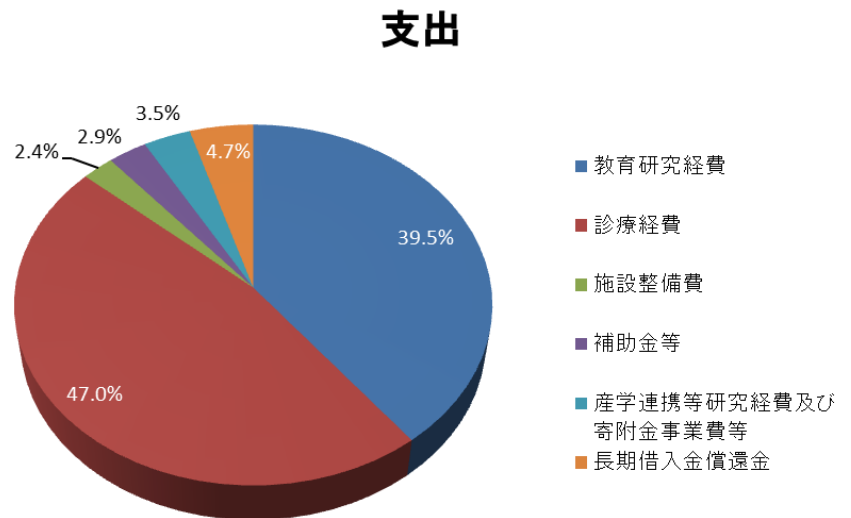
収入 (単位: 百万円)

区分	金額
運営費交付金	11,905
施設整備費補助金	729
補助金収入等	1,148
国立大学財務・経営センター施設費交付金	51
自己収入	23,930
授業料収入	3,552
附属病院収入	19,807
雑収入	571
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,580
長期借入金	156
目的積立金取崩	602
合計	40,101



支出 (単位: 百万円)

区分	金額
業務費	34,157
教育研究経費	15,581
診療経費	18,576
施設整備費	935
補助金等	1,148
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,389
長期借入金償還金	1,861
合計	39,490

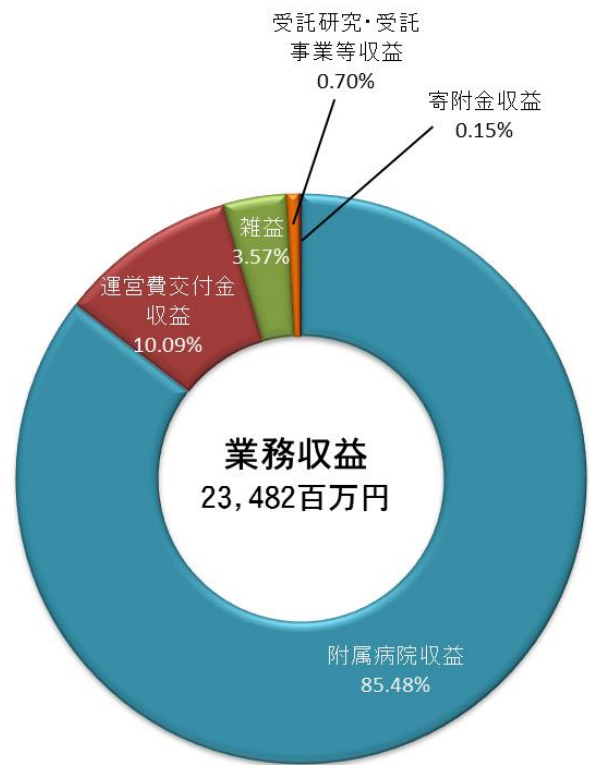
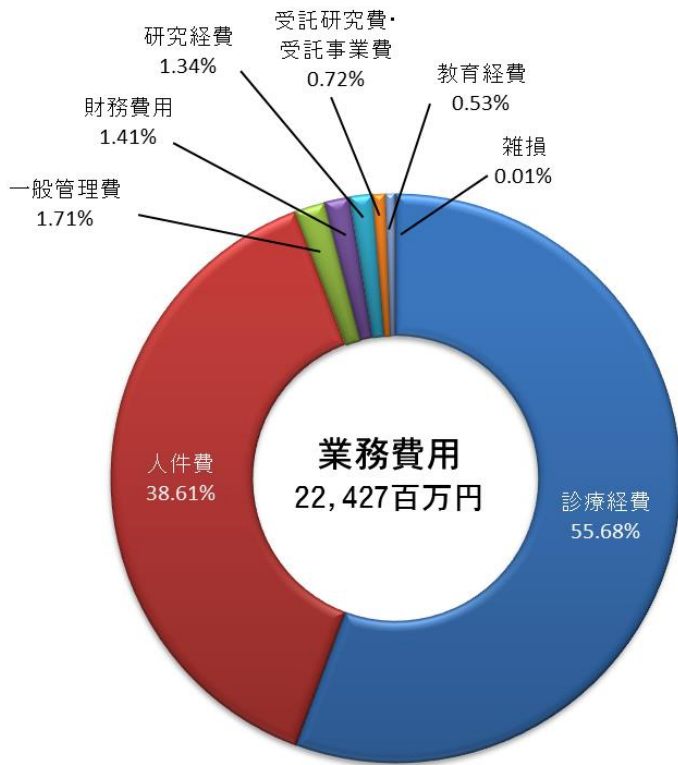


収入 - 支出 611 百万円

鳥取大学の収入の構成比は、病院収入が約半分、運営費交付金が約3割、授業料収入が1割弱、産学連携等収入及び寄附金収入等のいわゆる外部資金の比率は全体の約4%となっています。

毎年のように運営費交付金が削減されている状況下では、附属病院収入の確保、外部資金の積極的な獲得が安定的な財政基盤を築くうえで重要となります。

医学部附属病院の概要



医学部附属病院の決算状況

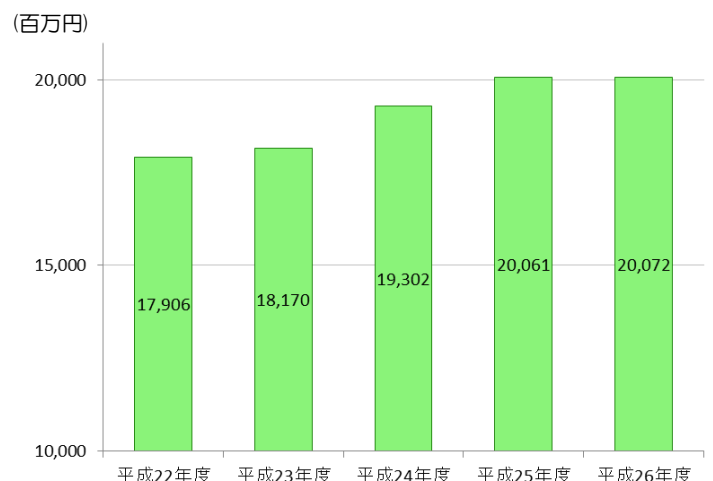
(単位：百万円)

区分	平成26年度	平成25年度
業務費用		
業務費	21,728	20,940
教育経費	119	89
研究経費	300	360
診療経費	12,487	12,138
受託研究費	107	85
受託事業費	53	66
人件費	8,658	8,200
一般管理費	382	315
財務費用	315	360
雑損	1	3
小計	22,427	21,620
業務収益		
運営費交付金収益	2,370	2,246
附属病院収益	20,072	20,061
受託研究等収益	108	86
受託事業等収益	56	68
寄附金収益	35	30
雑益	838	879
小計	23,482	23,373
業務損益	1,054	1,752

業務費用及び業務収益いずれも前年度と比較して増加しています。業務費用の主な増加要因は、医薬品費、診療材料費及び病院情報管理システム等の保守費用が増加したことによるものです。

一方、業務収益の主な増加要因は、外来患者数の増加及び診療単価が上昇したことによるものです。

附属病院収益の推移

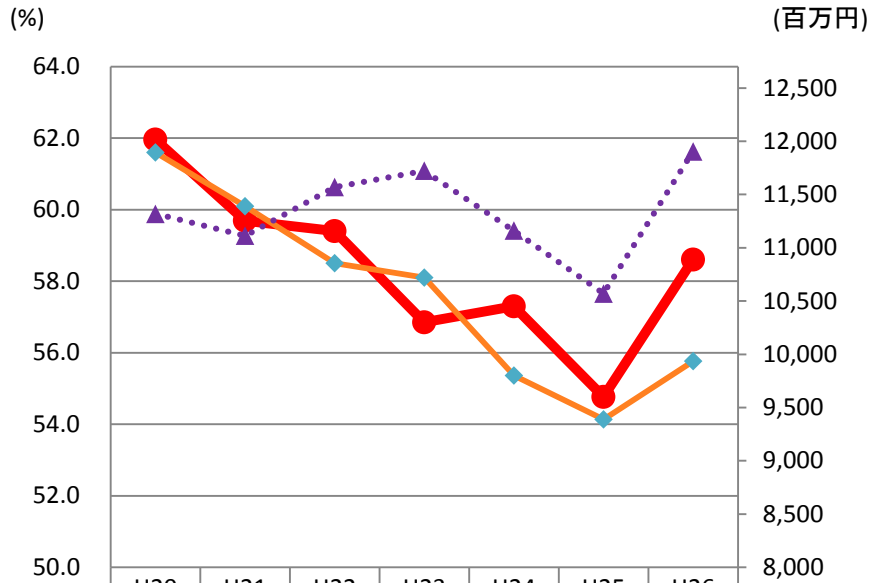


① 運営費交付金依存度

一般的に低い方が
良いとされる

■ 計算式

運営費交付金収益 ÷ 経常収益



●—● 本学	62.0	59.7	59.4	56.9	57.3	54.8	58.6
◆—◆ 同規模平均 (※)	61.6	60.1	58.5	58.1	55.4	54.1	55.8
▲...▲ 運営費交付金収入 (本学)	11,319	11,112	11,569	11,723	11,161	10,571	11,905

■ 指標の概要

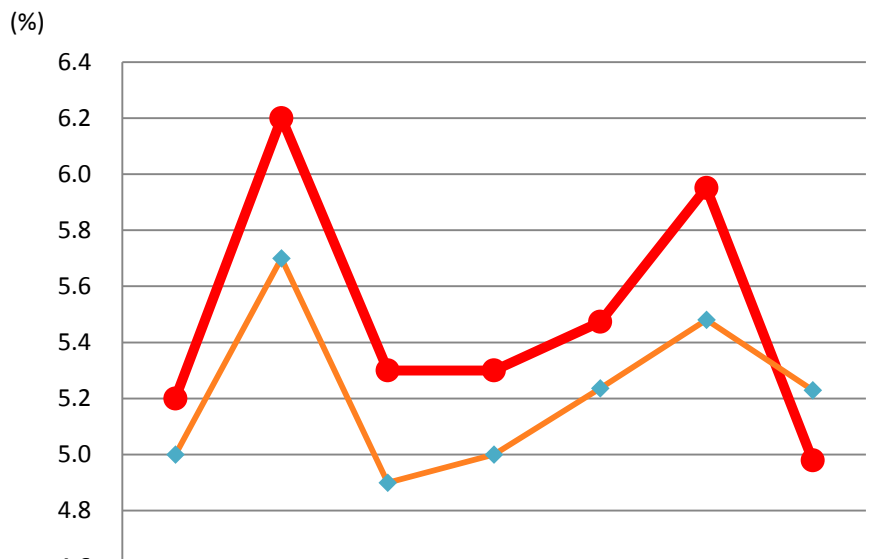
附属病院収益を除いた経常的な活動に係る収益のうち、どの程度を運営費交付金に依存しているかを示す指標。

② 教育経費比率

一般的に高い方が
良いとされる

■ 計算式

教育経費 ÷ 業務費



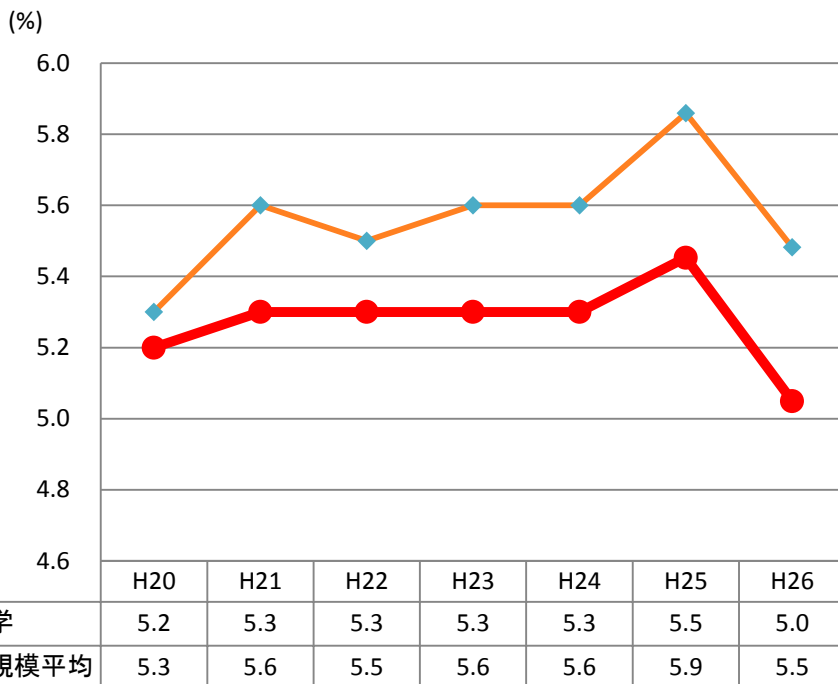
●—● 本学	5.2	6.2	5.3	5.3	5.5	6.0	5.0
◆—◆ 同規模平均	5.0	5.7	4.9	5.0	5.2	5.5	5.2

■ 指標の概要

大学が支払う経費全般(業務費)のうち、教育経費がどの程度占めるかを示す指標。

③ 研究経費比率

一般的に高い方が
良いとされる



■ 計算式

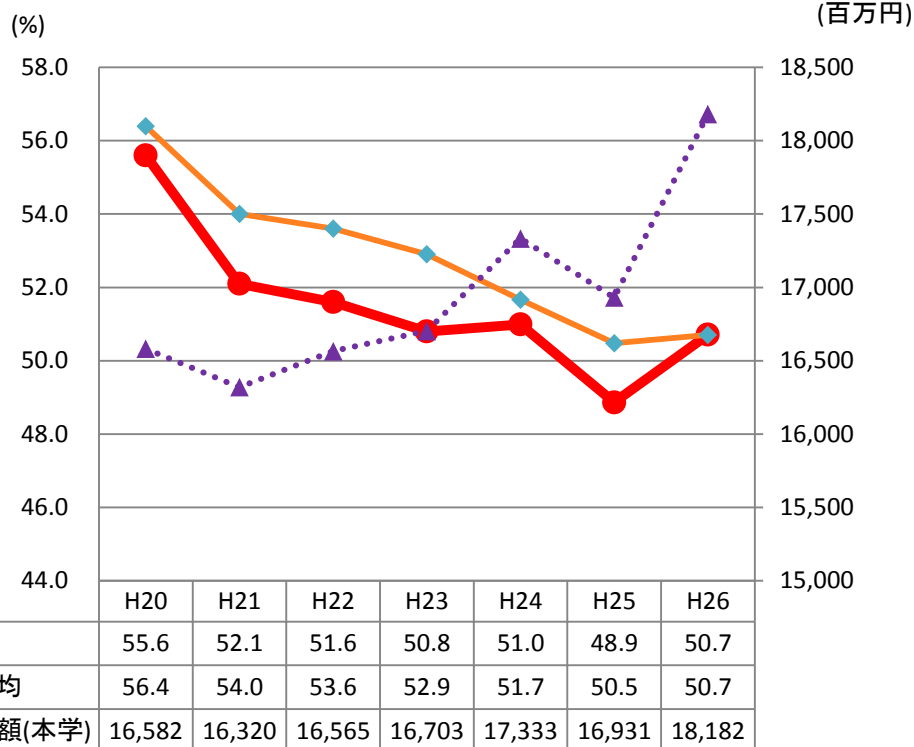
研究経費 ÷ 業務費

■ 指標の概要

大学が支払う経費全般(業務費)のうち、研究経費がどの程度占めるかを示す指標。
(科学研究費補助金は含まれていません。)

④ 人件費比率

一般的に低い方が
良いとされる



■ 計算式

人件費 ÷ 業務費

■ 指標の概要

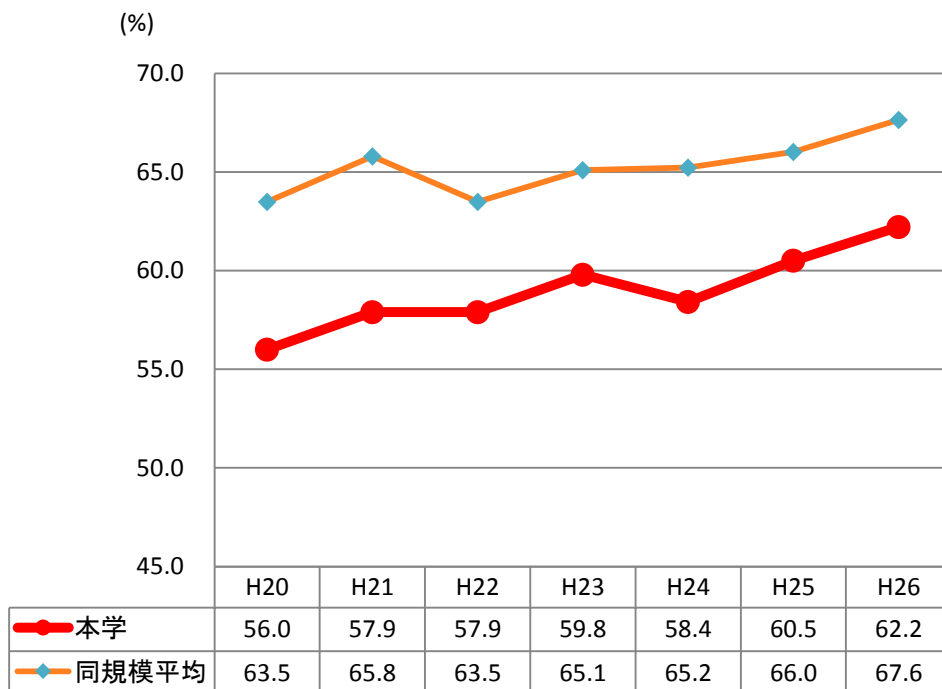
大学が支払う経費全般(業務費)のうち、人件費(役員人件費+教員人件費+職員人件費)がどの程度占めるかを示す指標。

⑤ 診療経費比率

一般的に低い方が
良いとされる

■ 計算式

診療経費 ÷ 附属病院収益



■ 指標の概要

附属病院収益に対する診療経費の割合を示す指標。

附属病院の経営状況を示す指標で、診療経費に人件費は含まれていません。

※ 「同規模平均」とは、文部科学省によりグループ分類された、医科系学部とその他の学部で構成される同規模の国立大学法人計25大学の実績の平均値を指します。

島根大学、山口大学、徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学、弘前大学、秋田大学、山形大学、群馬大学、富山大学、金沢大学、福井大学、山梨大学、信州大学、岐阜大学、三重大学、佐賀大学、長崎大学、熊本大学、大分大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学、鳥取大学

国立大学法人鳥取大学

鳥取キャンパス 〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101

(代表)TEL:0857-31-5007

米子キャンパス 〒683-8503 米子市西町86

(代表)TEL:0859-33-1111

<http://www.tottori-u.ac.jp/>